

平成28年度

事業報告書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

1 指定管理施設の運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況 (単位：人)

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館※1	172,947	29,153	202,100
東区体育館	130,080	28,736	158,816
白石区体育館	151,600	30,072	181,672
厚別区体育館	131,294	38,693	169,987
清田区体育館・温水プール	234,025	24,881	258,906
体育館	145,862	24,822	170,684
プール	84,397	59	84,456
体育館・プール共通	3,766	—	3,766
豊平区体育館	98,544	54,406	152,950
南区体育館※2	71,193	16,368	87,561
西区体育館・温水プール	317,064	37,528	354,592
体育館	171,856	37,513	209,369
プール	140,141	15	140,156
体育館・プール共通	5,067	—	5,067
手稲区体育館	135,891	28,818	164,709
中央体育館	68,223	78,261	146,484
中島体育センター	95,263	28,645	123,908
宮の沢屋内競技場※3	8,274	12,736	21,010
白旗山競技場	1,687	22,753	24,440
合計	1,616,085 (前年度 1,584,379)	431,050 (前年度 482,729)	2,047,135 (前年度 2,067,108)

※1 札幌市における改修工事のため12月12日から1月28日の間休館（競技室及び体育室のみ）

※2 札幌市における改修工事のため10月1日から1月31日の間休館（全館）

※3 札幌市における改修工事のため7月1日から1月31日の間休館（全館）

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	131,026	1,582	132,608
豊平公園温水プール※1	74,214	828	75,042
平岸プール	154,150	19,674	173,824
白石温水プール※2	52,094	1,514	53,608
手稲曙温水プール	122,798	1,474	124,272
東温水プール	142,606	6,323	148,929
合計	676,888 (前年度 674,111)	31,395 (前年度 29,563)	708,283 (前年度 703,674)

※1 札幌市における床補修工事のため3月6日から3月20日の間休館（全館）

※2 札幌市における改修工事のため11月1日から3月31日の間休館（全館）

ウ 札幌市美香保体育館

施設名		個人利用	専用利用	合計
美香保体育館		36,905	95,816	132,721
	体育館	8,264	35,009	43,273
	スケート場	28,641	12,807	41,448
	公園野球場	—	48,000	48,000
合	計	36,905 (前年度 32,949)	95,816 (前年度 55,708)	132,721 (前年度 88,657)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
月寒体育館		72,096	73,222	145,318
	体育館	41,475	—	41,475
	スケート場	30,621	73,222	103,843
月寒屋外競技場		2,159	15,521	17,680
	ラグビー場	—	8,013	8,013
	庭球場	—	6,714	6,714
	弓道場	2,159	794	2,953
星置スケート場		12,595	39,431	52,026
どうぎんカーリングスタジアム		—	44,804	44,804
合	計	86,850 (前年度 85,222)	172,978 (前年度 154,616)	259,828 (前年度 239,838)

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名		個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場		24,704	286,164	310,868
	野球場	—	152,545	152,545
	陸上競技場	16,407	77,658	94,065
	庭球場	—	50,394	50,394
	補助競技場	—	5,567	5,567
	スケート場	8,297	—	8,297
麻生球場		—	63,550	63,550
	野球場	—	60,891	60,891
	庭球場	—	2,659	2,659
厚別公園		50,054	129,162	179,216
	主競技場	33,010	123,726	156,736
	補助競技場	4,154	5,436	9,590

	トレーニングルーム	12,890	—	12,890
合	計	74,758 (前年度 70,265)	478,876 (前年度 510,186)	553,634 (前年度 580,451)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
スポーツ交流施設	105,014	1,025,856	1,130,870	
屋内グラウンド	82,750	999,536	1,082,286	
屋外テニスコート	—	10,514	10,514	
パークゴルフ場	22,264	185	22,449	
屋外球技場	—	3,826	3,826	
イベント広場	—	11,795	11,795	
合	計	105,014 (前年度 116,094)	1,025,856 (前年度 954,786)	1,130,870 (前年度 1,070,880)

キ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計	
藤野野外スポーツ交流施設	889,789	698	890,487	
夏季利用	8,705	—	8,705	
スキー場	881,084	—	881,084	
リ्यूージュ競技場	—	698	698	
合	計	889,789 (前年度 876,614)	698 (前年度 290)	890,487 (前年度 876,904)

(単位：人)

体育施設合計	5,722,958
--------	-----------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計	
中央健康づくりセンター	113,211	—	113,211	
西健康づくりセンター	154,716	—	154,716	
東健康づくりセンター	48,595	—	48,595	
合	計	316,522 (前年度 311,339)	— (前年度 —)	316,522 (前年度 311,339)

(3) 札幌国際交流館の利用状況（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	72,091	21,381	93,472
プール ^{※1}	45,348	0	45,348
体育室	26,655	6,342	32,997
総合	88	—	88
ライラックホール	—	15,039	15,039
合計	72,091 (前年度 66,782)	21,381 (前年度 23,100)	93,472 (前年度 89,882)

※1 札幌市における改修工事のため4月1日から4月27日の間休館（プールのみ）

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	6,132,952
前年度利用者数	6,028,733
増減	104,219

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	171	36	15	16	238
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	603,858 (前年度 620,941)	24,507 (前年度 23,431)	14,081 (前年度 13,224)	22,023 (前年度 22,798)	664,469 (前年度 680,394)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	111	2	113
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	656,991 (前年度 634,684)	1,737 (前年度 2,022)	658,728 (前年度 636,706)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プール
開放校数	196
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	59,296 (前年度 59,410)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	1,382,493
前年度利用者数	1,376,510
増減	5,983

3 地域スポーツ普及振興事業 (5,858 事業 128,718 人)

(1) スポーツ教室事業 (5,671 事業 88,252 人)

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、運動会前に「かけっこ教室」を豊平区体育館、南区体育館、東区体育館などで新規開講するほか、送迎が出来ない家庭の子ども向けに送迎バスを運行した「送迎バス付秋のチャレンジスイミング」を白石温水プールで試行的実施するなど、多種多様なニーズに対応した教室を開講し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、従来の球技系種目のほか、気軽に複数のフィットネス教室を体験できる「フィットネスお試し体験講座」を白石区体育館で開講し、成人や高齢者がスポーツをはじめのきっかけとなるプログラムを実施した。

(5,396 事業 78,828 人)

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との「げんきキッズ」や日本ランニング機構との「さっぽろアスレティクスアカデミー」などのスクール事業 (96 事業 1,610 人) を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「バドミントン教室」(7 事業 147 人)、「歩くスキー」や「アイスホッケー」などのウィンタースポーツ活性化のための教室 (169 事業 7,488 人)、東区の複数施設を利用する「わくわくスポーツ倶楽部」をはじめとする施設間合同事業 (3 事業 179 人) など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (133 事業 28,177 人)

各施設において、「体育の日無料開放」や「さっぽろスポーツ DAY*」の無料開放 (49 事業 18,141 人)をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるバドミントンや卓球、フットサルなどの多種多様なスポーツ大会、ダンス発表会やプールフェスタなどのイベント事業を開催した (46 事業 4,930 人)。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行う朝野球大会、スポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (21 事業 2,574 人) やウィンターレクリエーション活性化のための大会、イベント (17 事業 2,532 人) を開催した。

*さっぽろスポーツ DAY は、市民の皆さまが健康とスポーツへの関心を深め、スポーツや健康づくりのきっかけとなるよう、当財団 30 周年を契機に管理施設において、毎年 5 月 5 日を「スポーツ・健康づくりの日」として一斉に実施。

(3) スポーツキャラバン事業 (46 事業 3,176 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、スポーツ用具の貸し出しなどを行った。

ア イベント運営請負 (地域イベントにおけるスポーツ体験コーナーの運営) 4 事業 1,755 人

イ 出前講習会 (民間企業などにおける体力測定の実施) 3 事業 59 人

ウ 指導員派遣 (地区センター、保健センターなどの講座への指導員派遣) 13 事業 1,362 人

エ ニュースポーツ用具のレンタル (ストラックアウトなどのレクリエーション用具を市民に貸し出し) 26 事業

(4) 歩くスキー常設コース事業 (2 事業 指定管理事業 白旗山 1,687 人 / 受託事業 中島公園 6,453 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(5) ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 834 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWW) のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。また、厚別区体育館と豊平公園温水プールで新たに 2 コースを追加新設した。

(6) 2017 冬季アジア札幌大会開催 100 日前イベント (1 事業 3 教室 139 人)

冬季アジア組織委員会主催の大会 100 日前を記念したイベントの中でスケート体験教室 (48 人)、アイスホッケー体験教室 (56 人) を月寒体育館で、カーリング体験教室 (35 人) をどうぎんカーリングスタジアムで実施し、企画・運営を担った。

4 健康・体力づくり相談事業 (643 事業 89,984 人)

(1) 指定管理事業 (67 事業 64,006 人)

ア 健康増進事業 (2 事業 1,458 人)

健康づくりに必要な健康状態を把握するため、「健康度測定」「体力測定」を行った。

イ 女性のフレッシュ健診 (1 事業 714 人)

受診機会の少ない 18 歳から 39 歳までの女性を対象に健康診断・骨粗しょう症検診などを行った。

ウ 運動指導事業 (59 事業 58,049 人)

市民の自主的な健康づくり活動の実践の場として、運動フロアにて運動器具の利用指導や「エアロビクス」「ストレッチ」などの自由参加プログラム、「ウォーキング講習」(31 事業 56,516 人)、個別運動指導 (3 事業 969 人) などを行った。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室や豊平区体育館・厚別区体育館に運動指導員を派遣し、「ひざ腰すこやか運動教室」などの各種集団的運動の実践指導を行った (25 事業 564 人)。

エ 各種相談事業・人材育成研修 (5 事業 3,785 人)

センターの利用者などに対し、保健師、管理栄養士による健康や食生活に関する相談及び指導、理学療法士による理学的評価及び指導を行った (3 事業 3,707 人)。また、地域の健康づくりを担う人材の育成を目的とした「ロコモサポーター養成講座」を実施した (2 事業 78 人)。

(2) 受託事業 (46 事業 5,027 人)

ア 健診事業 (4 事業 460 人)

「特定健康診査」や「大腸がん検診及び緊急肝炎ウイルス検査」を行った。

イ 国保特定保健指導 (積極的支援・動機づけ支援) (13 事業 262 人)

対象者が自主的に健康的な行動変容の方向性を導きだせるよう運動実践を取り入れたプログラムを提供した。

また、「運動お試し券」を持参した方に運動の目安や運動機器の操作などの個別運動指導を各健康づくりセンターのほか、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールで行った。

ウ 高齢者運動機能向上事業 (28 事業 249 人)

要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者を対象に運動器の機能向上を目的として「転倒予防筋トレコース」や「ひざ痛・腰痛予防体操コース」などの運動プログラムを各健康づくりセンターのほか、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールで行った (25 事業 142 人)。

また、各区の事業従事者に対し研修会を通じて技術指導・助言を行った (3 事業 107 人)。

エ 清田保健センター健康増進フロア運動指導業務 (1 事業 4,056 人)

運動指導員を清田区保健センターに派遣し、集団的運動プログラムや運動機器の取扱い方法を指導した。

(3) 自主事業 (530 事業 20,951 人)

ア 健康スポーツ・スポーツライフ応援事業 (353 事業 9,464 人)

市民を対象に健康・体力づくりや運動能力の向上などを目的として各種教室や講習会を実施した。

(7) 運動指導教室

「ストレッチ&ヨガ」や「いきいき健康体操」「二十四式太極拳」など (223 事業 6,214 人)。

(イ) 健康サポート教室

「肥満改善教室」や「糖尿病のための運動教室」「健康講座」など（123事業 2,069人）。

(ウ) 健診事業

「頸部エコー検査」や「骨密度検査」、「採用時健診」など（7事業 1,181人）。

イ 子ども体力向上・高齢者健康増進サポート事業（63事業 951人）

子どもの体力・運動能力などの向上と高齢者の健康維持・促進や生きがいを支援するため、プログラムと環境の充実を図った。

(ア) 子どもの体力向上事業

「すくすくキッズ体育教室」や「小学生のからだ元気教室」など（15事業 247人）。

(イ) 高齢者健康維持・増進事業

「高齢者のための足腰元気教室」や「高齢者のための筋トレ教室」など（48事業 704人）。

ウ 派遣事業（60事業 2,547人）

保健センターや事業所・学校などへ専門スタッフを派遣し実践指導を行った。

(ア) 運動指導員派遣事業

「白石区保健福祉課」「札幌市老人クラブ連合会」など（56事業 1,798人）。

(イ) 保健師・管理栄養士派遣事業

「健康フェスタ 2016 in ちゅうおう」「さとらんどアイスフェスタ」など（4事業 749人）。

エ 地域貢献事業（15事業 2,268人）

地域住民を対象に、保健センターなどとの連携による「健康づくりフェア」「高齢者のための健康チャレンジDAY」などを開催した。

オ スポーツ施設における健康づくり事業（39事業 5,721人）

北区体育館、白石区体育館、南区体育館、清田区体育館・温水プールにおいて、「健康体力測定」や、「膝・腰すこやか体操」などの健康サポート教室などを実施した。また、エアロビクスなどの自由参加プログラムや初心者向けトレーニング講習を実施した。

5 国際交流推進事業（222事業 6,269人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（20事業 3,516人）

札幌国際交流館において「世界ふれあいひろば」や、「ワールドスポーツフェスティバル」をはじめとする留学生のスポーツ交流会、「JAPAN カルチャーDay」や「お正月を楽しもう」など研修生との文化交流会など、JICA や公益財団法人札幌国際プラザと共催で、市民と外国人がスポーツ・文化活動などを通じて相互理解及び親善を深め、国際交流を推進する事業を実施した。

(2) スポーツ教室事業など（202事業 2,753人）

技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、テニス教室をはじめとする各種競技種目から「ベリーダンス」や「ZUMBA」など各国にゆかりのあるフィットネス教室などを開催し、継続的な運動の機会を提供した。

6 地域コミュニティ活性化事業（77事業 73,642人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携して「雪っていいね ていね」や「ひがしく健康・スポーツまつり」など地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、施設近隣の住民を対象とした「水上安全無料講習会」や「防犯講習会」などの啓発事業を実施した（指定管理施設内：38事業 62,826人、指定管理施設外：39事業 10,816人）。

7 情報提供及び調査研究事業

(1) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した。（北海道新聞折り込み広告、日刊スポーツ新聞紙面広告、ふりっぱー、北海道ランニングガイドなど）。

(2) 財団広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」（Health& Sports Life：年4回、各10,000部）を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを毎号掲載した。

ア 104号～北翔大学エアロビック部 日本エアロビック連盟ナショナル強化選手 是枝 亮

イ 105号～ウィルチェアーラグビー日本代表 池崎 大輔（リオパラリンピックにて銅メダル獲得）

ウ 106号～長野冬季オリンピックスピードスケート500m金メダリスト 清水 宏保（2017冬季アジア札幌大会特集号として発行）

エ 107号～バンクーバー冬季パラリンピック銀メダリスト 永瀬 充

(3) 財団ホームページにおける情報の提供

2017冬季アジア札幌大会の開催や冬季オリンピック札幌大会の招致などを見据え、ホームページに外国語自動翻訳サービス及び色合い変更機能を導入し、見やすく、わかりやすい情報の提供を行なった。

(4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した（北海道新聞社主催～「プラチナスクール」他）。

8 スポーツ大会・イベントの開催(14事業 83,366人)

(1) 第39回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースを開催した。春の北海道を満喫するウォーキングイベント。

※2014年9月に発生した記録的集中豪雨の影響により、コース（国道453号線）の一部歩道が通行不能のため、10kmのみで開催した。

開催日：5月29日（日）

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ

種目：10km

参加人数：911人

(2) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2016

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：7月3日（日）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：1,118チーム 9,635人

(3) 第41回札幌マラソン

北日本最大級の市民ハーフマラソン大会。ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。

開催日：10月2日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他

種 目：ハーフマラソン、10 km、5 km（オープン・車イス）、中学生（3 km）、
小学生（3・2 km）、ファンペア（3・2 km）

参加者数：13,178 人

(4) 第 37 回札幌国際スキーマラソン大会

クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。
海外からも多くの参加を受け、国際色豊かな大会となった。

開 催 日：2月5日（日）

会 場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種 目：スキーマラソン 50 km・25 km、歩くスキー11 km・5 km・3 km

参加者数：1,742 人

(5) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 第 10 回さっぽろトリム&ラン（6月12日）参加者数：851 人

イ 第 20 回北の都札幌ツデーウオーク（6月25日・26日）参加者数：2,600 人

ウ 2016 札幌 30K（7月9日）参加者数：1,007 人

エ 第 41 回札幌小学生陸上競技教室（8月6日）参加者数：152 人

オ 第 30 回記念北海道マラソン 2016（8月28日）参加者数：21,392 人

カ サッポロヘルス&ビューティフェア 2016（10月22日・23日）来場者数：約 12,000 人

キ 北海道ハイテク AC 第 7 回札幌小学生陸上競技クリニック（12月23日）参加者数：52 人

ク ウィンタースポーツフェスタ in 大倉山（1月29日）約 2,100 人

ケ 大通公園ウィンタースポーツフェスティバル（2月18日・19日）来場者数：16,494 人

コ 平成 28 年度札幌市室内陸上競技大会（3月19日）参加者数：1,252 人

9 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

10 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー」コンソーシアムの登録

登録会員としての認定事業である札幌国際スキーマラソン大会等において、PR 活動を実施したほか、
当財団所管施設で競技規則の変更等により使用が出来なくなったスポーツ用品を発展途上国へ提供し
た。

イ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー16 大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会
相互の連携と発展を図った。（ニセコスキーマラソン大会新規加盟）

ウ スポーツボランティアの育成支援

スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟し、
「スポーツボランティア研修会」を開催した。

また、財団ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を
支援した。

エ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との間で、学生が札幌マラソンなどの運営に携わる「事業連携包括協定」により、各種大
会の運営に学生が携わった。北海道を歩こう、北の都札幌ツデーウオーク、6 時間リレーマラソン、
札幌 30K、札幌マラソン、札幌国際スキーマラソン大会の 6 事業に、計 195 人が従事した。

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「げんきキッズ教室」を8施設で実施した。

オ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

公益財団法人日本体育施設協会や順天堂大学などとの連携により、「体育施設運営士養成講習会（50人参加）」を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

カ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(ア) 北海道コンサドーレ札幌

- a クラブパートナー契約の締結
- b 協働事業として、通年で様々なスポーツ体験を行う「スポーツスクール in Fu' s」を実施

(イ) エスポラーダ北海道

- a オフィシャルパートナー契約の締結
- b 中央体育館にて女子フットサルスクールを協働開催、その他6施設でSHSFフットサル教室を協働開催
- c 美香保体育館にてFリーグ公式戦を財団マッチデイとして開催

(ウ) レバンガ北海道

- a オフィシャルスポンサー契約の締結
- b 協働事業として、バスケット交流戦（体育館グループ合同事業）を開催

キ 職員の派遣、役員就任など

一般財団法人札幌市体育協会へ職員（1名）、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会へ職員（5名）の派遣を行い、団体の活動を支援した。

また、「さっぽろグローバルスポーツコミッション委員」、「サッポロヘルス&ビューティフェア実行委員」、「第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会評議員」など、委員への就任による運営協力、「第45回全道少年野球大会」、「第12回豊平川市民マラソン」などのスポーツ大会の後援（55事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

ク 高等教育機関と連携したデザインの制作

札幌市立大学デザイン学科と連携し、各施設で作成する配布物のデザイン向上に取り組んだほか、チラシ作成の内部研修を実施した。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

関係団体との連携による河川敷清掃、植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計20,161キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額240,000円）、札幌エコメンバーの登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども110番の店として防犯活動を推進した。

また、連合町内会及び警察署の協力による交通安全啓発運動（月寒体育館、どうぎんカーリングスタジアム、藤野野外スポーツ交流施設）、「地域住民向け不審者テロ対策講習」を開催するなど、地域における防犯活動に協力した。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。また、札幌市水上安全赤十字奉仕団との協働による「水泳安全講習会」、白石

消防署水難救助隊との協働による「水上安全講習会」や「水上安全法救助員養成講習会」を開催するなど、地域の安全・安心なスポーツ活動の実施に協力した。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：134件、延べ人数：791人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ さぼーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぼーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当財団ホームページにおいて周知をした。

キ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：80,931円）及び東日本大震災復興支援募金（募金額：平成28年度分43,080円、累計1,689,400円）、熊本地震災害救援募金（募金額：平成28年度累計275,739円）などに協力した。

ク 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

11 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	6,132,952
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,382,493
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	89,825
地域関係団体・機関との連携事業（指定管理施設外）	10,816
合 計	7,616,086 (前年度 7,513,074)
増 減	103,012

(2) 収支

収 入 4,348,979,089円

経 費 4,104,954,068円

12 処務の概況

(1) 平成28年度末理事・監事・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
代表理事	三浦 英典	24. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	伊藤 博昭	26. 7. 1	26. 7. 1	常 勤
理 事	星 満	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤
理 事	村上 猛	25. 4. 1	27. 6. 26	常 勤

理事	廣原 克博	25. 4. 1	27. 6. 26	常勤
理事	佐藤 照幸	25. 4. 1	27. 6. 26	常勤
理事	川島 行雄	27. 6. 26	27. 6. 26	常勤
監事	山口 淳一	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
監事	水野 克也	24. 7. 1	25. 4. 1	非常勤
評議員	川上 敏正	27. 7. 1	27. 7. 1	非常勤
評議員	川初 清典	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評議員	菊池 美由紀	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評議員	黒島 隆一	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評議員	手島 久仁彦	28. 7. 1	28. 7. 1	非常勤
評議員	富田 秀則	28. 7. 1	28. 7. 1	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	25. 4. 1	非常勤
評議員	柳原 正明	28. 4. 1	28. 4. 1	非常勤

(2) 平成 28 年度末職員数

職種／性別	男性	女性	合計
正職員	114 人	34 人	148 人
派遣職員	1 人	0 人	1 人
嘱託職員	61 人	59 人	120 人
臨時職員	23 人	6 人	29 人
パート職員	167 人	405 人	572 人
合計	366 人	504 人	870 人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第 1 回 平成 28 年 4 月 1 日	(1) 第 1 号議案 常務理事の業務分担について (2) 第 2 号議案 常勤役員報酬規程の改正について
第 2 回 平成 28 年 6 月 13 日	(1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告について (2) 第 2 号議案 平成 27 年度決算（監査報告）について (3) 第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告について (4) 第 4 号議案 平成 28 年度スポーツ振興くじ助成金交付内定に伴う誓約書の提出について (5) 第 5 号議案 理事の任期満了に伴う新理事候補者名簿の承認について (6) 第 6 号議案 平成 28 年度第 1 回評議員会の開催について (7) 職務執行状況報告
第 3 回 平成 28 年 6 月 28 日	(1) 第 1 号議案 役職理事の互選について (2) 第 2 号議案 平成 28 年度収支予算の変更について (3) 第 3 号議案 規程の改正について

第4回 平成28年9月12日	(1) 第1号議案 規程の改正について (2) 第2号議案 ストレスチェック制度実施規程の制定について (3) 職務執行状況報告
第5回 平成28年12月9日	(1) 第1号議案 規程の改正について (2) 職務執行状況報告
第6回 平成29年3月8日	(1) 第1号議案 平成28年度収支予算の変更について (2) 第2号議案 財務会計規程等の改正について (3) 第3号議案 常勤役員報酬規程の改正について (4) 職務執行状況報告
第7回 平成29年3月30日	(1) 第1号議案 平成29年度事業計画について (2) 第2号議案 平成29年度収支予算について (3) 第3号議案 諸規程の改正について (4) 職務執行状況報告

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
第1回 平成28年6月28日	(1) 平成27年度事業報告について (2) 公益目的支出計画実施報告について (3) 第1号議案 平成27年度決算(監査報告)について (4) 第2号議案 評議員の選任について (5) 第3号議案 理事の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：千円)

	24年 3月期	25年 3月期	26年 3月期	27年 3月期	28年 3月期	29年 3月期
前期繰越収支差額	408,786	459,770	462,162	334,741	392,657	539,113
当期収入合計	4,127,843	4,294,470	4,512,097	4,694,791	4,805,457	4,637,205
当期支出合計	4,076,858	4,292,078	4,639,518	4,636,875	4,659,001	4,534,433
当期収支差額	50,985	2,392	△127,421	57,916	146,456	102,772
次期繰越収支差額	459,770	462,162	334,741	392,657	539,113	641,885
資産合計	2,445,335	2,494,284	2,440,385	2,675,388	2,836,470	3,003,222
負債合計	1,250,947	1,302,849	1,395,591	1,582,015	1,624,669	1,624,880
正味財産	1,194,388	1,191,435	1,044,794	1,093,373	1,211,801	1,378,342

(5) 公認会計士の関与の有無

ア なし

イ 監査

ウ 依頼

エ 指導・相談